

任意団体 LEAD-Japan Asia Pacific Initiative

沿岸環境モニタリングと住民主体型ガバナンスモデルの開発、ならびに大学連携ネットワークによる普及一日本、タイ、フィリピン

カリキュラム・モジュール開発 (日・英両語)

10 科目

海外コンタクト

2 ケ国

活動の全体目標に対する達成度

60%



沿岸環境調査の様子 (沖縄・大浦湾)

◆成果と工夫したポイント

- 成果 国際レベル・国レベル・地域レベルをタテに貫く協力関係を構築する。アジア太平洋における「沿岸環境保全」に向けた知見を得るため、沖縄島に共通のフィールドを設定し、タイ、フィリピンの大学・NGO と協力する。

- 工夫 ウェブサイト www.esd-asiapacific.com 上にアーカイブ並びに最近の成果を掲載。

課 題

NGO として、1992 年の国連環境開発会議での「持続可能な開発」の合意、2012 年の「リオ+ 20」での「持続可能な開発目標 SDGs」の合意の普及を担う。

活動内容

LEAD-Japan API は、大学間の非公式な協力関係を基礎として NGO 活動を行っている。中心テーマはアジア・太平洋における環境の持続可能性の向上である。特に、サンゴ礁など地球環境の健全性を示す指標となる生態系の保全に重点をおいている。具体的には、フィールドワーク、教材開発、教育（フォーマル、インフォーマル）を行っている。海外を含め、関連する NGO、国際機関と協力している。



地球環境を守ろう (フィジー)

今後の課題

地球環境と生態系（特に沿岸域）を理解するための国際プログラムを開発し、実施する（インフォーマル教育）。大学・中高・小学校レベルの地域教育プログラムに組み込む。これらを実施するボランティア参加者およびサポーターを募る。